

月	単元名	時数	主に学習すること	学習の目標	評価の観点
4月	1章 正負の数 ○正負の数 ・符号のついた多数 ・数の大小 ○加法と減法 ・加法 ・減法 ・加法と減法の混じった数	12	・正の数・負の数の意味を理解するとともに、数の概念を広げる。 ・正の数・負の数を数直線を用いて表し、大小を判断する。 ・正の数・負の数の加法、減法の混じった計算をする。 ・代数和の考え方を理解する。	・身近にある負の数や反対の性質を持つ量の表し方に興味・関心を持ち、いろいろな数量を正負の数を用いて表すことができる。 ・正負の数に関する用語や意味を理解できる。 ・正負の数を数直線を用いて表すことができる。 ・数の大小関係を理解することができる。 ・絶対値の意味を理解し、利用できる。 ・同符号・異符号の2数の和を求めることができる。 ・加法の交換・結合法則を理解し、利用できる。 ・2数の減法ができる。 ・正負の数の加減を統一的に捉えることができる。 ・文章題を解くことができる。	1, 4 4 3, 4 4 4 3 3, 4 3 2, 3 2, 3, 4
	1章 正負の数 ○乗法と除法 ・乗法 ・除法 ・四則の混じった計算 ・数の範囲と四則 ○正負の数の利用	18	・正の数・負の数の乗法、除法の計算をする。 ・かっこを含む計算、加減乗除が混じった計算をする。 ・仮の平均を使い平均値を出す。	・正負の数の2数の乗法、除法ができる。 ・累乗の表し方と計算ができる。 ・四則の混じった計算ができる。 ・括弧を含む計算、加減乗除を含む計算ができる。 ・交換、統合、分配の各計算法則が負の数を含めて理解することができる。 ・文章題を解くことができる。 ・仮の平均を使うことで、簡単に平均を出せることを知り、使うことができる。	3 3, 4 3 3 2, 3, 4 2, 3, 4 2, 3, 4
6月	2章 文字と式 ○文字を使った式 ・文字の使用 ・文字を使った式の表し方 ・代入と式の値 ○文字式の計算 ・1次式の計算 ○文字式の利用 ・数量の表し方 ・関係の表し方	18	・文字の意味を理解し、数量を文字を使って表す。 ・文字式を書くときの決まりを知る。 ・数量を文字式の決まりに従って表す。 ・式の値の意味を理解する。 ・同じ文字を含む項は1つの項にまとめられることを理解する。 ・単項式、多項式と数の乗法、除法を計算する。 ・1次式の加法・減法の計算をする。	・具体的な数量を抽象的・一般的な文字式に置き換えて、事象を数理的に考察することができる。 ・決まりに基づいて、文字式を使って式を表すことができる。 ・文字式を書くときの決まりを理解している。 ・いろいろな数量を、文字を用いて式に表すことができる。 ・1次式の意味や、項と係数の意味を理解できる。 ・代入、式の値の意味を理解できる。 ・1次式の加法、減法、乗法、除法の計算ができる。 ・1次式の文章題を解くことができる。	1, 4 4 4 3 4 3, 4 2, 3 2, 3, 4
	3章 方程式 ○方程式とその解き方 ・方程式とその解 ・方程式の解き方 ・いろいろな方程式 ○1次方程式の利用 ・1次方程式の利用 ・比例式の利用	19	・いろいろな数量の関係を等式を用いて表す。 ・方程式と解の意味を理解する。 ・等式の性質を理解し、それを用いて簡単な形の方程式を解く。 ・移項を理解し、1次方程式を解く。 ・文章題について1次方程式を用いて解く。 ・文章問題をつくる。	・数量の等しい関係を等式で表すことができる。 ・等式の性質を理解できる。 ・等式の性質から、移項や方程式の解を手際よく求める方法を見いだすことができる。 ・方程式を利用して問題が解決出来ることを知り、その良さを認めることができる。 ・文章問題を作るために等しい数量関係を理解できる。	1, 4 4 3, 4 2, 3 2, 3, 4
9月	4章 比例と反比例 ○関数 ・関数 ○比例 ・比例する量 ・比例のグラフ ・比例の表、式、グラフ ○反比例 ・反比例する量 ・反比例のグラフ ・反比例の表、式、グラフ ○比例と反比例の利用 ・比例と反比例の利用	21	・ともなって変わる2つの数量を見だし、変化の様子や対応の特徴を理解する。 ・変域の意味を理解し、不等式を用いて表す。 ・比例の特徴を式の形で捉える。 ・座標と座標平面の考え方を理解する。 ・比例の関係をグラフに表す。 ・事象から比例関係を見だして、問題を解決する。 ・反比例の特徴を式の形で捉える。 ・反比例の関係をグラフに表す。 ・事象から反比例関係を見だし、問題を解決する。	・比例を表す式が「 $y=ax$ 」であることを知り、式の形から比例の関係を見分けられる。 ・変域の意味を理解し、変域を不等号を使って表すことができる。 ・ x 軸、 y 軸、座標の意味を知り、座標の読み方を理解できる。 ・比例のグラフをかきことができる。 ・反比例を表す式が「 $y=a/x$ 」であることを知り、式の形から反比例の関係を見分けられる。 ・反比例のグラフをかきことができる。 ・比例・反比例の文章題を解くことができる。 ・比例・反比例に関わる日常的な事象を取り上げ、比例・反比例の見方や考え方が活用できる。	1, 4 3, 4 4 2, 3 1, 4 2, 3 2, 3, 4 2, 3, 4
	5章 平面図形 ○図形の移動 ・図形の移動 ○基本の作図 ・作図のしかた ・基本の作図 ・いろいろな作図 ○おうぎ形 ・おうぎ形	19	・図形の合同、線対称、点対称の意味を理解する。 ・正多角形の意味を理解する。 ・直線や線分、角とその表し方など、直線図形に関する基本的な事項を理解する。 ・円の接線、弧、弦の意味を理解する。 ・定規とコンパスを使って、基本的な作図を行う。 ・おうぎ形の弧の長さや面積は中心角に比例することを理解する。	・線対称、点対称な図形の性質を理解し、対称の軸、対称の中心の意味が理解できる。 ・角やその表し方を理解する。 ・円と直線の関係から円の接線が理解できる。 ・垂線の作図ができる。 ・垂直二等分線の作図ができる。 ・角の二等分線の作図ができる。 ・円の接線の作図ができる。 ・日常の具体的な問題解決の場面で作図を利用できる。 ・おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。	1, 2, 4 3, 4 4 3 3 3 3 3, 4 3, 4
11月	6章 空間図形 ○いろいろな立体 ・いろいろな立体 ○立体の見方と調べ方 ・直線や平面の位置関係 ・面の動き ・立体の投影図 ・立体の展開図 ○立体の体積と表面積 ・体積 ・表面積 ・球の体積と表面積	20	・立体の意味、角錐、円錐、多面体について理解する。 ・空間における直線と平面の位置関係について理解し、空間の見方を深める。 ・立体の展開図を通して、立体の概念の理解を深める。 ・柱体、錐体の体積の公式を理解し、体積を求める。 ・展開図を利用して、柱体、錐体の表面積を求める。 ・立方体の切り口の形を理解する。	・立体や多面体の特徴が理解できる。 ・空間にある点、直線と平面の関係や、それらの相互の位置関係について理解できる。 ・動いて出来る立体の特徴が理解できる。 ・立体の展開図がかけられる。 ・立体の体積を求めることができる。 ・立体の表面積を求めることができる。 ・立方体の切り口の形を求めることができる。	1, 4 4 1, 4 3, 4 2, 3 2, 3 2, 3 2, 4
	7章 資料の分析と活用 ○資料の分析 ・度数の分布 ・範囲と代表値 ○資料の活用 ○近似値と有効数字 ・近似値と有効数字	13	・度数分布表について理解する。 ・範囲と代表値を理解する。 ・資料を活用して、問題を解決する。 ・近似値について、理解する。 ・有効数字を理解する。	・度数分布表について理解できる。 ・範囲と代表値を理解できる。 ・資料を活用して、問題を解決することができる。 ・近似値について、理解できる。 ・有効数字を理解できる。	1, 4 3, 4 2 4 4